

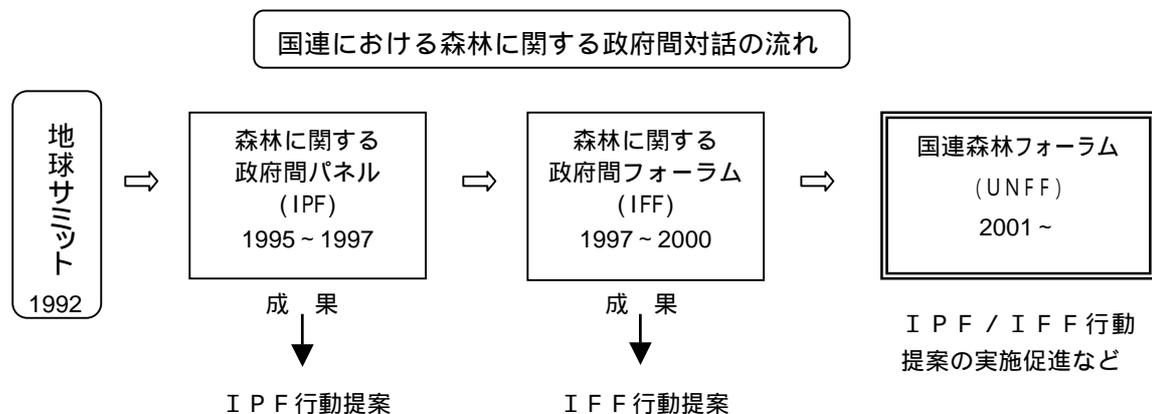
(参考)

## 国連森林フォーラム (UNFF) について

### 1. 概要

「国連森林フォーラム」(UNFF: United Nations Forum on Forests) は、全ての森林の持続可能な経営を目的とした政府間機関であり、森林問題全般にわたる政府間対話の場。

1992年の地球サミット以降、国連で開催された森林に関する政府間対話の結果、国連経済社会理事会の下部機関として設立された。UNFFは、森林に関する政府間パネル(IPF)及び同フォーラム(IFF)の行動提案等、これまで合意した取組の実施等を推進することとなっている。



### 2. UNFFの作業計画

UNFFは、2001年から当面5カ年の作業を実施。2001年の第1回会合では、第2回会合以降の検討項目(多年度作業計画)を以下のとおり決定した。

- ・第2回会合(2002年): 森林の減少・劣化への対策、森林保全・保護 等
- ・第3回会合(2003年): 森林の経済的側面、森林の健全性と生産性 等
- ・第4回会合(2004年): モニタリング・評価・報告、持続可能な森林経営の基準・指標 等
- ・第5回会合(2005年): 活動状況のレビュー、法的枠組(いわゆる森林条約)の検討 等

上記のほか、各回とも共通検討事項(資金・技術移転、国民参加の推進等)につき検討。

### 3. アド・ホック専門家グループ

2003年5~6月に開催されたUNFF第3回会合では、下記の検討を行うためのアド・ホック専門家グループの設立につき合意された。

- (イ) モニタリング・評価・報告の手法
- (ロ) 資金及び環境に優しい技術の移転
- (ハ) 法的枠組み(いわゆる「森林条約」)

(イ)、(ロ)については2003年12月に開催済、(ハ)については2004年9月に国連本部(ニューヨーク)で開催される予定。

(注)「アド・ホック」とは、「臨時、特別」の意。